



平成 9 年 6 月 9 日
日本原子力発電株式会社

原子燃料サイクルに係る計画のお願いについて

当社は、本日、敦賀市長殿と敦賀市議会議長殿に、敦賀発電所の使用済燃料対策計画およびプルサーマル計画について、別紙内容の お願いをいたしました。

以上

別紙 原子燃料サイクルに係る計画について

別紙 原子燃料サイクルに係る計画について

使用済燃料対策等の原子燃料サイクルについては、平成9年3月28日に敦賀市長殿に、ご理解、ご協力をお願いしましたが、本件は当社として緊急・重大な課題であることから、地元のご理解を賜るべく、以下の計画について、本日再度ご説明させていただきます。

1. 使用済燃料対策

- (1) 使用済燃料の発電所敷地外での貯蔵を含む長期的な対策について、国や他の電力会社と協調して検討を進める。
- (2) 敦賀発電所の使用済燃料貯蔵容量は、2000年過ぎには逼迫するため、当面の措置として発電所内貯蔵設備を増強する。
- (3) 具体的には敦賀発電所2号機使用済燃料ラックの改造（リラッキング）を行い、貯蔵容量を敦賀発電所全体で現在の約1.7倍に増強する。なお、正式には、準備が整い次第速やかに、安全協定に基づく手続きを進める。

2. プルサーマル 先に電気事業連合会を通じて公表したように、当社としては、2000年代初頭に2基で実施する方針のもと、具体的には、敦賀発電所2号機で装荷することを念頭において検討中である。

以上